



炬火を掲げていざ謳う

No.65



我らの泉鳥取

2023年11月21日(火)

編集・発行 泉鳥取高等学校閉校事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

クラブ列伝 フィールドワーク部その1

—ある時は地歴部 ある時はワンダーフォーゲル、ある時は生物関連—



部活動について、時代によって内容が大きく変わってきたクラブが「フィールドワーク部」です。

当初は地歴部だった

ももとは、開校当時から「地歴部」として活動していたクラブが、昭和60（1985）年頃に「フィールドワーク部」と改称、地理・歴史的な見学（フィールドワーク）をしていたクラブでした。

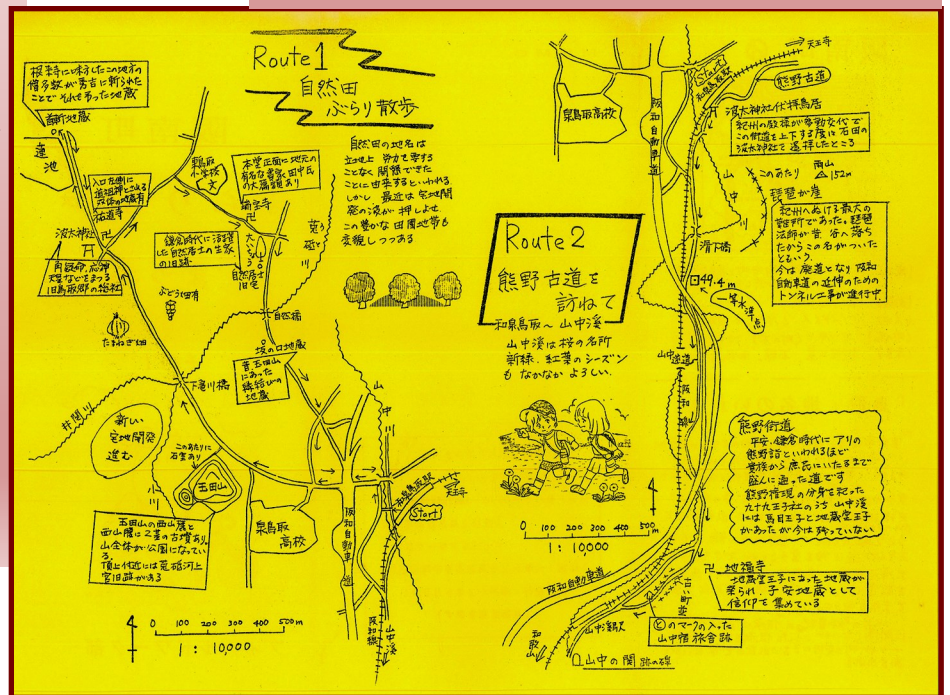
顧問交代 ワンダーフォーゲル的クラブに

その後顧問が交代し、後の顧問がサイクリングを中心としたワンダーフォーゲル的な活動を中心としたクラブに代わりました。

最後は生物系のクラブとなる

その後一時の廃絶を経て平成16(2004)年頃に復活、環境問題や生物系の取組みをする、どちらかという生物系の部活動として復活しました。

今回掲載したリーフレットは昭和62（1987）年に作成された「阪南町ぶらり散歩」です。これは文化祭配布用のパンフレットですが、社会科準備室に実物が残っていました。見ていただくと、当時の泉南郡阪南町の史跡の案内を手書きでしるしたものであることが分かります。



昭和60年代地歴部時代に採取した、石器の材料であるサヌカイト
奈良県 二上山麓 屯鶴峯(どんづるぼう)にて採取(社会科保管)